

令和5年度 第3回 豊田市石野地域会議 会議録

| | | | |
|------|--|---------|---------|
| 開催日時 | 令和5年6月27日(火) | 開会 | 閉会 |
| | | 午後6時55分 | 午後8時10分 |
| 会場 | 石野交流館1階 多目的ホール | | |
| 出席者 | 地域会議委員：12名 | | |
| | 副会長：溝上 喜美男 | | |
| | 委員：阿部 金一 伊藤 充繁 宇野 文康 川井 正弘 河原 美枝子 小池 伸二 小山 伸二 鈴木 敬樹 藤村 信治 三宅 乃婦香 森久 剛 | | |
| 欠席者 | 4名(富田 和久(会長) 川井 秀和 中田 実 松井 茂) | | |
| 傍聴者 | なし | | |
| 事務局 | 猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、井沢主査 | | |
| 内容 | 1. 豊田市民の誓い(唱和) 2. 会長あいさつ 3. 新たな提言に向けた取組について 4. 令和5年度の地域課題解決事業について 5. 情報共有・事務連絡 | | |

■ 議事(要約)

3 新たな提言に向けた取組

新たな提言を進めるための方向性について事務局から説明(資料1・2頁)

結論：提言の方向性について承認

→質疑等：協議会を作るという提言になるのか。

回答：そのとおり、協議会を作るので市も参加してほしいという提言となる。

→質疑等：前回の会議でも話題となったが、廃線敷の現状を知らない委員がいるため、現場を見る機会を作れないか。

回答：廃線敷全体は延長が長いので難しいが、広瀬駅、中金駅周辺等ポイントを絞れば可能である。

→質疑等：廃線敷に関わっている当事者でなければ中々わからないため、どんな状況が見られる機会があるといい。ドローンでの空撮や写真などで見せることで、本当に必要なものなのかを地区全体の人に理解してもらいたい。

→質疑等：地域会議としてはどんな役割になるか。

回答：協議会で話したことを、地域に持ち帰って意見を集約していただきたい。地域会議としては、ほかにも諮問答申や地域課題解決事業の内容協議など行うことがある。

→質疑等：廃線敷の活動が今までは惰性で行っている部分もあるので、協議会の中でもう一回地域の皆さんがどう思っているのか、再確認の意味でもやったほうが

良い。実際に見て何ができるか考えないと机上の空論になってしまう。

回 答：提言の方向性が認められれば、石野地域全体でアンケートを行うなど、意思を確認しながら合意形成していく必要がある。また、活動団体の皆さんにも声がけして、提言の内容について意向を確認しながら進めていく。

→質疑等：中金のトンネルを通れるようにすることは議論せずに進めていくのか。

回 答：現状でトンネルをどうこうすることは難しいため、所管課に要望して出来ませんで終わらないために協議会で意見をまとめていくのがいいのではと考えている。

→質疑等：地域課題解決事業の期間は3年間なのか。

回 答：事業実施の期間は必ずしも3年である必要はない。延長も可能である。

4 令和5年度の地域課題解決事業

事務局から地域課題解決事業について説明（資料5頁）

溝上委員から石野連合自主防災会とその活動に関する説明

防災事業のイベント企画について協議する内容を事務局から説明（資料6頁）

3班にわかれてグループワークを実施（実施場所、企画アイデア等を協議）

→質疑等：イベントの開催時間は？

回 答：時間は昼から夜にかけてと、一泊した翌日の朝に何か企画を行う想定。

→質疑等：参加人数の想定は？

回 答：藤岡や小原で実施したイベントから想定すると人数は20～30名程度、場所の制約もあるので内容次第で変わってくる。

5 情報共有・事務連絡

・9月に行う豊田市第9次総合計画の諮問に関する事前告知

→スケジュールとしては、1月までに答申するため、12月の会議でまとめる予定。

・漠然とした質問には答えにくいですが、具体的なものが何かあるのか。

→所管課と調整する。予定月の前月の会議で事前説明などを想定している。

・令和4年度の地域課題解決事業で作成した「ヘルプサインボード」を石野地区で全戸配布したが、6月2日の大雨の際に活用していたなどの情報が何かあれば、お聞きしたい。

→別の自治区のことだが、一人暮らしの方で何となく心配ということでボードを玄関の近くに置いてあるのを見た。

(次回の予定)

日時：7月25日（火） 午後7時から

場所：石野交流館1階 多目的ホール

内容：提言の協議・地域課題解決事業の協議